

# 2月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,072	95	11,793	92	103	98	1	0.0	神奈川、千葉産中心。各産地ともに秋冬作は大幅に前進したため、2月は例年よりも減少ペースが速まる見通し。関東産地の春作は前進傾向にあるが、現状の冷え込みにより生育ペースはほぼ平年並み。今後も寒さが続けば2月前半は端境期と低温による品質低下等で入荷量少なく、品薄高が予想される。入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回るが平年を下回る見込み。
はくさい	11,930	前年並み	12,716	49	112	67	2	0.0	茨城、群馬、兵庫産中心。茨城兵庫とも冷え込みはあるが生育ペースは平年より早く、玉伸びも4玉中心と順調。予想入荷量は前年並みで、価格は前年を上回るが平年より安い。
キャベツ類	14,725	前年並み	14,244	94	85	117	13	0.1	愛知、千葉、神奈川産中心。西南暖地、関東産ともに生育は前年より進んでいるが、今後も引き続き順調入荷の見通し。予想入荷量は前年並みだが、冷え込みによる入荷停滞の場面も予想される。基調安の流れは続き、価格は前年、平年を下回る。2月上旬は冷え込みの影響で少なく、月はじめの特需需要から上げ気配高まる。
ほうれんそう	1,688	90	1,660	477	105	450	4	0.2	茨城、群馬、千葉、埼玉産など関東もの中心の入荷となる。各産地とも現状の冷え込みによる生育停滞と昨年内からの出荷前進の反動もあり、予想入荷量は前年の9割レベル。1月下旬の高値推移の流れが続き、価格は前年平年を上回る見込み。大きな入荷の山もなく、相場は高水準を維持。
ねぎ	4,707	前年並み	4,529	248	113	288	30	0.6	千葉、埼玉、茨城産など関東もの中心の入荷となる。降雨、降雪の影響で一時的に入荷減少する場面はあるが、太物の発生も多く、生育自体は順調。予想入荷量は前年と横ばい。価格は前年を上回るがほぼ平年並みの見込み。冷え込みが続けば引き合いも強く、現状の高値基調の流れも続く見通し。
トマト	4,707	上回る	4,843	470	96	414	1	0.0	熊本、栃木、愛知産などの入荷となる。熊本産は冷え込みと収穫段の着果不良により、2月いっぱいまでだったら出荷が続く模様。愛知、関東産の春作は今後の天候次第だが、現時点では平年作と見込まれる。総入荷量は前年を上回るも平年よりは少なく、価格は前年を下回るが平年は上回る見込み。現状西南暖地の天候不良により絶対量不足で高値推移も、2月後半から春作が価格が安くなってくる見通し。